（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年一月十六日（月曜日）　臺灣日日新報　第一万三千九百四十八號　A　（一）

臺灣日日新報

本日八頁　定價本一部六錢一ヶ月金四圓五拾錢（日本國內及支那各地ヘ郵送料共金七圓）　廣告料別一行十九字壹圓　同裏壹圓五拾錢　特別一行　同裏壹圓五拾錢

編輯兼發行人　佐藤良人

臺北市表町一丁目一番地　社報新日日新聞社

電話編輯局（代表）八〇一番　營業局八〇二番　印刷局二〇五六番

列國が干渉しても わが國策は動かぬ

英が米と同趣旨の申入

【東京十五日發同盟】クレーギー英大使は昨十四日有田外相を訪問し、十四日附公文を以て舊臘三十日附アメリカ政府の對日復答と同一歩調、同一趣旨の申入をなし來つたが外務省では十五日午後十時右公文を公表した、尙當局では英國政府の右措置に對しアメリカ政府の三十日附復答の場合と同樣さして意に介して居らず、帝國の對支政策は不動のもので列國の干渉によつて左右し得るものではなく、また列國の經濟的壓迫などは今更問題視するのも愚論がましい事であるとなしてゐる

【東京十五日發同盟】クレーギー英大使より有田外相に手交せる英國政府の對日申入公文内容に關し外務省では十五日午後十時三十分その全文を發表したが要旨左の通り

一、本使は本國外務大臣の訓令に依り過般來南總理大臣及びその他の帝國政府が關係したる日本の後援問題に關する新政策を祈究したる結果、英國政府が感ぜざるを得ざる不安及び深甚なる考慮を閣下に通報す

二、これ等の發展並に日本に於て發出せられたその他の公の情報に鑑み英國政府は日本政府の意圖が日本、支那及び滿洲より成る三者間の緊密なる關係又はブロックを結成し、日本はその最高の權力を揮ひ、支那及び滿洲に依賴的役割を與へんとするにありと推斷す、支那に關する限り日本政府に對し支那、文化都市の政策の實施に當り任務とする在東京領事館を通じ絶えざるも一定期間その實施經過に關し行はんとするものと諒解す

三、英國公使は「支那及日本と防共協定を締結することを要し、必らず日本の侵略條件の履行を保障するため日本軍隊は一定の期間支那領土内特定の地點に駐屯する」旨を述べたり、この意味は明らかならざるが內蒙が支那の他の部分より分離に關聯なる日本の軍事的把握の下に置かるべきものと推斷するの外なし

四、英國政府としては、日本が領土を求むるものに非ずして支那の主權を毀損するものなりとの正當理由の存在を認むるが、武力に依り支那人民を强制して政治、經濟及び文化、生活を日本の把握の下に服從しめ永久の日本軍を永く支那に駐屯せしめ且つ內蒙の領土を軍事上支那より分離せしめんとする日本政府の關聯が與へられたる意圖とが如何にして帝立し得べきや諒解に苦しむのなり

五、英國政府は强力に依り暫らくするも上記の如き性質の諸活動を受諾し若しくは承認する用意なきことを明らかならしめんと欲す、英國政府は九國條約の諸原則を維持する意向にして同條約の廢棄を一方的に要望することに同意するに非ず、各國民の商業及び產業に對する機會均等の原則なる支那に關し且つ對支那關係に於ける日本政府の聲明なる支那に關し且つ對支那關係に於ける日本政府の聲明なる支那に關し且つ對支那關係に於ける日本政府の聲明

―池田財經から―
―石渡、八田財經政策へ（下）―

金融偏重の問題
平和産業の問題

即ちのやうに解釋は、池田氏の代りに顧客の多い有様、八田商相を迎へたことに内心安堵なさを感じたには違ひないが、兩相とも池田財經政策の基調から急に離脫しないこと、つまり兩相の根本的な財經政策は池田財經政策の延長以外に有り得ないことにせめてもの滿足を感じたのである。兩相の政策が池田政策の延長以外に有り得ないことは、今次政策の聽明や發表から云ふも當然である。事實兩相とも其日の初閣議に於て、池田財經政策の基調を踏襲することを、それぞれ述べた言葉によつてであるが聽明したのだ。

池田財經
政策の基調から急に離脫しないこと、つまり兩相の根本的な財經政策は池田財經政策の延長以外に有り得ないことにせめてもの滿足を感じたのである。兩相の政策が池田政策の延長以外に有り得ないことは、今次政策の聽明や發表から云ふも當然である。事實兩相とも其日の初閣議に於て、池田財經政策の基調を踏襲することを、それぞれ述べた言葉によつてであるが聽明したのだ。

× × ×

ただ聊くも國務大臣として閣室に列した以上、たゞ單に擔任者の政策をその儘踏襲するといふのでは餘りに自主性に乏しいばかりでなく、事實時局の發展極まなく何時如何なる變化が內外に起るかも知れないことを考へれば、愈〻以て擔任者の政策を

機械的に
踏襲するだけでは意味をなさぬことになる。

× × ×

そこで例へば石渡新藏相は「各般の具體的方策は前大臣の執られた所を承け、今後必要に應じて隨時適當の措置を行ひつゝ諸方策相互間の協調併進を期して行く方針である」とし、又「特に考慮すべきこととして、『今日までの諸方策は甚重点を置き過ぎた爲の弊害といふ點が多かつたのであるが、今後はこの點に極力意を用ひ、物資の需給關係の調整に萬全を期する」と述べ、特に長期建設には重點

産業統制
も時局に應じ乍らも一面に於て極力緩和して行くので

石渡財政
については、一般會計豫算に經濟の特定項目に關する豫算を必要とするものは追加豫算として提出する方針であるが、增稅については前大臣の考へ通り一般的稅制整理は昭和十五年度に斷行し十四年度は臨時措置として物品稅の增徴を中心に一億五千萬圓乃至二億圓の增稅を行ひ且つ生産力擴充の爲めには國債發行も辭さない方針である。

× × ×

次に八田新閣相の談話に於て注目すべきは航空のやうに民營産業との調和に關しては特に觸れてゐないことである。航空事業は國防上重要産業であるから、これが發展に關しては國家統制の下に民營産業との調和を圖ることは勿論であるが、航空事業の特殊性に鑑み、

漫畫特輯　リキリハ時代

編輯　野村幸一

るは現長隊部リキリハ銳新

線戰時階非む派とたつはてげさつひ刀資の家傳
るさ待期が味切の刀資のこもてさ

脫兎型

なんと云つても、緊張せねばならぬ時ちや、能率增進と體位向上の二石二鳥のこんなスタイルで、勤務は如何かで御座る

春場所來る

關取「ギつッ！廁屠が出來たア　錢起がよいでごんス」

原動力發見さる

「あなたッ！近頃夜分は遲くまで遊び廻り、いやにピチピチしてゐると思つたら、こんなものを使つてゐるんですかッ」

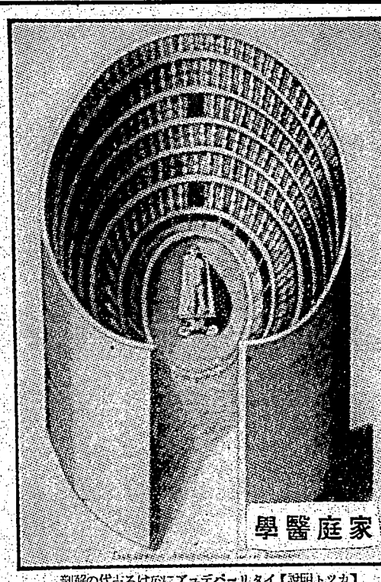
生活改善

奧さん「輕鬆酒强化のため今日から、おかずは、タクアンにしました」

長崎「……？」

四十歳過ぎての疲勞恢復法

（疲勞素が體内に蓄積されると中毒症狀を起して早老を招く）



剖解の代出るけ居にアュデパーリタイ【說明トツカ】
るれいえとたし神發りよここは學醫代近のてべす　室

疲勞の起る原因について、大體これまで信じられてきたのでは、腦髓、或ひは腦神經を働かした場合、その組織中に特別の物質——即ち疲勞素が發生して、これが

全身的に障碍を及ぼし、疲勞感を起させると云ふ

のであります。

そしてこの疲勞素は、少量の場合には、睡眠や休息をとります と血液の循環によつて同化作用が行はれ、體外に排出されてしまひますが、しかし仕事が過勞に亙る時はこれが體内に蓄積されて一種の中毒症狀を起してきます。

殊に年齢も四十を過ぎてきますと、組織の生活力は次第に低下し、新陳代謝が衰へてきますので、一日や二日の休息ではなかなか疲勞がぬけず、種々の障害を誘します。

まづ心臟の內壁を刺戟して動脈硬化の原因となり、腎臟や肝臟の內分泌腺を衰退させて早老を招き更に大切なことは、胃腸の働きが衰へり、胃液の分泌不足や、食慾不振を起させ、胃腸病や結核の誘因となることであります。

ですから疲勞した場合には、勿論、休息して心身の安靜を保つことが必要ですが、それと同時に大切なのは榮養の攝取で體内

疲勞素の排泄

が速かに行はれる樣、圖らなくてはなりません。

ところでこの細胞の新陳代謝作用に最も必要なのはビタミンBです。これは種々の食物——特に胚芽刀の澱粉となる含水炭素の代謝には、缺くべからざるものでありますから、これを體内にとれば細胞の生活力も强まり、種々の原因から來る疲勞の害も除かれるわけですが、その方法として最も簡易に行はれるのは榎合ベーフェ製劑「能率わかもと」の服用であります。

この藥には胃腸を强める成分や、脂肪、含水炭素、各種ビタミン等の、人體に必須の榮養素が網羅されて居りますが、特にビタミ

お乳の出を良くする法

姙娠中や授乳中の婦人は、常人の二倍のビタミンBを要し、これが不足すると お乳の出が悪くなる——といふのが最近の學說ですが、ビタミンBには抵抗氣性神經炎促進性等いろ〳〵の働があつて、どのビタミン劑でもみんな有效だとは云へませんし、ビタミンB以外にファクターLといふ榮養素が無くてはお乳が出ないといふ說もある位です「能率わかもと」を服用しますと、お乳の出が大變良くなりますが、これは各種のビタミンBを網羅すると共にファクターLといふ榮養素も多分に含まれてゐるからであります。

ビタミンBは、生物中通一の榮養素と云はれる程で、飯中、最近の「能率わかもと」のビタミンB含有量は

倍加することゝ

に成功し、他のベーフェ劑或ひは酵母と云はれて市販されてゐるものに比して、斷然頭角を擡んで居ります。

隨つて榮等の成分が綜合的に働く結果として、胃腸をはじめ全身細胞が活潑になり、疲勞も早く恢復され、早老の豫防や、胃腸病、結核、糖尿病等に對する抵抗力も增强されるのであります。

榮養の不完全から起る食餌性貧血

✿特に離乳期のお子樣に御注意

血液を試驗管にとつて分析してみますと、大體八割の水と、二割の固形分とから成つて居ります。この固形分を更に分析しますと、血液一瓦中には、一〇三瓦のヘモグロビンと、七〇瓦の

蛋白　質と、その他少量の脂肪な無機質鹽類を含んで居ります。

從つて血液を造るためには、これらの榮分がまづ服用「ねばなりませんが、更にその上に必要なのは、ビタミンBその他の補佐榮養であります。この補佐榮養の働きがないために、折角體內に立派な榮分をとり入れ乍ら、遂に血に變ることが出來ないで、貧血を起してゐる場合が少くないといふことが發見せられました。

このやうな場合を食餌性貧血と云つて、榮養學上重要な問題とされて居りますが、特に御注意申上げたいのは、離乳期の赤ちやんの榮養であります。

大抵赤ちやんは、七八ヶ月頃になりますと

お乳

の外にも、そろ〳〵普通の食物を與へて離乳の準備をしますが、もし離乳も遲れて、滿一ケ年或はそれ以上乳ばかりで榮つて居りますと、幼兒は早晩貧血を起して、容易く榮養とはつた樣になります。

これは食餌性貧血を起したの

で、所ういふ狀態を防止しておきますと、知らぬ間に體質が變へて消化不良や結核に罹る樣になることにできましたが、この際適當に「能率わかもと」をお與へになると、弱い胃腸を强め而も種々の榮養素を補給しますので、大變重寶がられて居ります。

チフス・エキリ
無菌內服豫防劑
ヘテロゲン

醫學博士　長井長義氏　發明創製

喘息、僕咳劑として發作の後防續劑、苦惱の消退等の諸點に對して頁く本劑は其の効果を竦すのみならず治療上極めて容易に投與の便利があり且持續的なる作用を有す、而して長期に亙る服用も何等の胃腸障碍なきためエフェドリン「ナガキ」に因る續足感は服用者のみが享受する利點なり

包裝（發賣、注射液アリ）
一〇錢入　二〇錢入　五〇錢入
一〇〇錢入　五〇〇錢入

製造元　大日本製藥株式會社
發賣元　武田長兵衛商店
發賣元　小西新兵衛商店
（全國至る處の藥店にあり）

喘息と鎭咳に

「ナガキンリドエフエ」Ⓟ

子ども喜ぶわ 皇軍慰問

北龍園二

榮養實話

腹膜炎輕快し若き日の元氣に復す

（新潟縣新潟市）菅原忠藏

私は腹膜炎に罹された若者です。最初は便通が惡くて困りました。その後一年一回又は二年に二回位腹が十時間も膨み續けるやうに膨み續けて居りました。その度毎に醫師の診察を受けましたけれど胃腸が惡い等とおつしやるのです。それで一日も休むとすつかり良くなつて一生懸命に働いて居りました。処が昨年の二月いつもの樣に腹が膨み出して二十八度の熱となりました。なる程良いことが書いてあると思ひ、どうも病が進んで早速藥店より買入れ、その日より五錢づつ服用しましたら發熱が見え出しました。便通は日に一度づつ定まり食慾は增し、顏色もよくなり、又發熱も翌の工合も何日振りかで、元の健康な時に若返つた樣な氣がします。今日健康體になつたのも偏に「能率わかもと」のお蔭でございます

定評ある鎭咳祛痰劑 ブロチン

（登錄商標）

感冒、氣管枝カタル、肺結核肋膜炎、その他呼吸器疾患にて咳嗽、喀痰に惱む場合に賞用を受けて居ります

（說明書進呈）

東京●日本橋●室町
三共株式會社

咳と鎭咳に

ペクトロン

（ホーピルス）Ⓟ

本劑の特長

馬肥へる秋を迎へて痔疾に惱み痩せ細る有樣は他の眼からも氣の毒と云つてしまへばそれ迄ですが痔疾藥が無いではなく痔疾の治療に是非必要な鎭痛、止血、殺菌、消毒の諸作用を持つたアルコンと稱する良藥が今回弊社で特別な操作で製造發賣しられてゐます坐藥の型も特長を持ち一般から好評を得てゐます。

包裝

	坐藥	軟膏
一瓦入	一〇個入	
三瓦入	一〇個入	
五瓦入	一〇個入	
一〇瓦入	一〇個入	
二〇瓦入		一個入
五〇瓦入		三個入

（全藥種店到る所にあり）

本店　大阪道修町
製造所　大日本製藥株式會社
發賣元　支店　東京本町

体力維持增進に

オリザニン

（登錄商標）

ビタミンBの世界的始祖

ビタミンを除外して榮養を論ずる譯には行かない

オリザニンは……常に眞摯なる研究を基礎とし、良心的な製造と嚴密なる製品檢定を經、品質の純良と效果の的確を期し、學界に於ける**ビタミンB劑**の標準品として認められてゐます……

（末、錠、液、エキス、注射液各種）

（說明書進呈）

三共ビタミン劑
三共肝乳（A・D）
三共ビタミン膠球（A・D）
三共ビタミン錠（A・B・D）
オリザニン（B1・B混合體）
オリザビトン（B1・C）
ビトン（C）
ビタグルコーゼ（C・葡萄糖）
ベフト（E）

001. J. 009

東京●日本橋●室町　三共株式會社

三共
SANKYO

定評ある 鎭咳祛痰劑 ブロチン

（登錄商標）

感冒、氣管枝カタル、肺結核肋膜炎、その他呼吸器疾患にて咳嗽、喀痰に惱む場合に賞用を受けて居ります

（說明書進呈）

東京●日本橋●室町
三共株式會社

南風の歌 (1)

加藤武雄作
富田千秋畫

従姉（一）

（ソビイ・エンド。女主人公のエルザが、愛人を獲ると共に、生みの世話にめぐり合ふところで、その映畫は終つた。これで開幕だ。一隅の特等席にゐた二人も、狹い出口からぞろぞろと吐き出される人々の中に押揉まれながら外へ出た。

「どう？　面白かつた？」

殿代は、幸子に云つた。大柄な身體に、鄕里の方言のブラウスに、黑色の毛糸製チョッキを着つけた殿代は、小柄な幸子より二つ三つ年長らしく一寸、年にかかるやうな固で、投げやりの調子にある點を見せた欠伸ばかり出て、欠伸で涙を出しちやつたのよ」

殿代は、さう云ふと、殘りの欠伸をもう一つして、

「私、餘りほとを作品で出ちやはうかと思つたけど、幸子さんがあんまり熱心に見てゐるしやるもんだから」

「すみません」

幸子は、正直に謝た、正直に謝る外、こんな場合、他に手を知らない幸子なのだ。

殿代は、人ごみを縫つてツイと軽快に歩く。幸子は、黙つてそのあとに續いた。

幸子の眼には、今見た映畫の中のシインが、まだちらついてゐた。それは、殿代の云ふ通りつまらない映畫だつたかも知れないが、幸子には強ひて樂しい印象だつたのである。幸子は、母を求めるあまり、母といふものを無い觀だつたのである。まるきり母といふものを知らない觀だつた。そして、幸子の母は、もう此の世にはゐないのだつた。母に會ひ得たエルザのやうに、自分は永久に母には逢ひ得ないであらう？

牛乳屋に、東京へ出て來るまでは、母は東京にゐるのだとばかり思つてゐた。何かの事情で別れてゐるのだらうが、やがて、會へる時が來ると諦らめないと、何の理由は無いが、一つの信仰として、それを信じてゐた。死んだのだと聞かされたのは、東京へ出て來てからであつた。

延代の時、幸子には母の則子夫人は、幸子を迎へた時、最初の言葉として、斯う云つた。

「これから、うちの娘にて面倒を見てあげます。そのかはり、あなたも、私を本當の母様さんと思つて下さらなきやいけません。死んだ母様さんのことなど、すつかり忘れてしまふのですよ」

死んだ？——あとになつて、そつと母父さんに訊いて見ると、母父さんは、かなしげに云つた。

「あ……死んだのだよ。お前が生れたばかりの時にな」

東京へ出たら、母に會へるかと思つてゐた彼女の夢は、かくして一ぺんに打碎かれてしまつたのである。

延代の時、幸子には母の則子夫人は、幸子を迎へた時、最初の言葉として、斯う云つた。

「これから、うちの娘にて面倒を見てあげます。そのかはり、あなたも、私を本當の母様さんと思つて下さらなきやいけません。死んだ母様さんのことなど、すつかり忘れてしまふのですよ」

死んだ？——あとになつて、そつと母父さんに訊いて見ると、母父さんは、かなしげに云つた。

「あ……死んだのだよ。お前が生れたばかりの時にな」

東京へ出たら、母に會へるかと思つてゐた彼女の夢は、かくして一ぺんに打碎かれてしまつたのである。

ラヂオ

朝
【七・〇〇】朝の挨拶ラヂオ體操（朝の音樂レコード演奏）（城ヶ島の唄・北原白秋作詞・梁田貞作曲）世の常（高安六郎作詞・梁田貞作曲）眞白き富士の嶺（一ノ瀬恵子作詞・ナイト作曲）鴨緑江節
【八・〇〇】ニュース
【八・〇五】國民歌謠（東北）人の假寢と鼾聲（第五）（第六）實話の三奇人と・鈴木鼎
【九・二五】內地定期船大和丸出港入港時刻及航路列車時刻のおしらせ・鐵道部運輸課提供
【九・四五】家庭百科（家庭）
【九・五〇】家庭百科（家庭）
一、新しい繃帶の巻のとり方　二、繃帶の中の洗濯をとる方法　三、新裂傷面の拭き込み法
【一〇・二五】家政女學校卒業生（羅北のみ）家政女學校卒業生の手藝品展覽會（羅南のみ）實演中繼
【一〇・四〇】家政女學校卒業生の手藝品展覽會（羅南のみ）實演中繼
【一一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一一・〇二】國民歌謠（東北）
【一一・一〇】ラヂオ體操
【一一・二〇】ニュース
【一一・三〇】國民歌謠（東北）
【一二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一二・〇二】國民歌謠（東北）
【一二・一〇】ニュース
【一二・二〇】國民歌謠（東北）
【一二・三〇】國民歌謠（東北）
【一二・四〇】ニュース
【一二・四五】國民歌謠（東北）
【一二・五〇】國民歌謠（東北）
【一二・五五】國民歌謠（東北）
【一三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一三・〇二】國民歌謠（東北）
【一三・一〇】ニュース
【一三・二〇】國民歌謠（東北）
【一三・三〇】國民歌謠（東北）
【一三・四〇】ニュース
【一三・四五】國民歌謠（東北）
【一三・五〇】國民歌謠（東北）
【一三・五五】國民歌謠（東北）
【一四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一四・〇二】國民歌謠（東北）
【一四・一〇】ニュース
【一四・二〇】國民歌謠（東北）
【一四・三〇】國民歌謠（東北）
【一四・四〇】ニュース
【一四・四五】國民歌謠（東北）
【一四・五〇】國民歌謠（東北）
【一四・五五】國民歌謠（東北）
【一五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一五・〇二】國民歌謠（東北）
【一五・一〇】ニュース
【一五・二〇】國民歌謠（東北）
【一五・三〇】國民歌謠（東北）
【一五・四〇】ニュース
【一五・四五】國民歌謠（東北）
【一五・五〇】國民歌謠（東北）
【一五・五五】國民歌謠（東北）
【一六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一六・〇二】國民歌謠（東北）
【一六・一〇】ニュース
【一六・二〇】國民歌謠（東北）
【一六・三〇】國民歌謠（東北）
【一六・四〇】ニュース
【一六・四五】國民歌謠（東北）
【一六・五〇】國民歌謠（東北）
【一六・五五】國民歌謠（東北）
【一七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一七・〇二】國民歌謠（東北）
【一七・一〇】ニュース
【一七・二〇】國民歌謠（東北）
【一七・三〇】國民歌謠（東北）
【一七・四〇】ニュース
【一七・四五】國民歌謠（東北）
【一七・五〇】國民歌謠（東北）
【一七・五五】國民歌謠（東北）
【一八・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一八・〇二】國民歌謠（東北）
【一八・一〇】ニュース
【一八・二〇】國民歌謠（東北）
【一八・三〇】國民歌謠（東北）
【一八・四〇】ニュース
【一八・四五】國民歌謠（東北）
【一八・五〇】國民歌謠（東北）
【一八・五五】國民歌謠（東北）
【一九・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【一九・〇二】國民歌謠（東北）
【一九・一〇】ニュース
【一九・二〇】國民歌謠（東北）
【一九・三〇】國民歌謠（東北）
【一九・四〇】ニュース
【一九・四五】國民歌謠（東北）
【一九・五〇】國民歌謠（東北）
【一九・五五】國民歌謠（東北）
【二〇・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二〇・〇二】國民歌謠（東北）
【二〇・一〇】ニュース
【二〇・二〇】國民歌謠（東北）
【二〇・三〇】國民歌謠（東北）
【二〇・四〇】ニュース
【二〇・四五】國民歌謠（東北）
【二〇・五〇】國民歌謠（東北）
【二〇・五五】國民歌謠（東北）
【二一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二一・〇二】國民歌謠（東北）
【二一・一〇】ニュース
【二一・二〇】國民歌謠（東北）
【二一・三〇】國民歌謠（東北）
【二一・四〇】ニュース
【二一・四五】國民歌謠（東北）
【二一・五〇】國民歌謠（東北）
【二一・五五】國民歌謠（東北）
【二二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二二・〇二】國民歌謠（東北）
【二二・一〇】ニュース
【二二・二〇】國民歌謠（東北）
【二二・三〇】國民歌謠（東北）
【二二・四〇】ニュース
【二二・四五】國民歌謠（東北）
【二二・五〇】國民歌謠（東北）
【二二・五五】國民歌謠（東北）
【二三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二三・〇二】國民歌謠（東北）
【二三・一〇】ニュース
【二三・二〇】國民歌謠（東北）
【二三・三〇】國民歌謠（東北）
【二三・四〇】ニュース
【二三・四五】國民歌謠（東北）
【二三・五〇】國民歌謠（東北）
【二三・五五】國民歌謠（東北）
【二四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二四・〇二】國民歌謠（東北）
【二四・一〇】ニュース
【二四・二〇】國民歌謠（東北）
【二四・三〇】國民歌謠（東北）
【二四・四〇】ニュース
【二四・四五】國民歌謠（東北）
【二四・五〇】國民歌謠（東北）
【二四・五五】國民歌謠（東北）
【二五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二五・〇二】國民歌謠（東北）
【二五・一〇】ニュース
【二五・二〇】國民歌謠（東北）
【二五・三〇】國民歌謠（東北）
【二五・四〇】ニュース
【二五・四五】國民歌謠（東北）
【二五・五〇】國民歌謠（東北）
【二五・五五】國民歌謠（東北）
【二六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二六・〇二】國民歌謠（東北）
【二六・一〇】ニュース
【二六・二〇】國民歌謠（東北）
【二六・三〇】國民歌謠（東北）
【二六・四〇】ニュース
【二六・四五】國民歌謠（東北）
【二六・五〇】國民歌謠（東北）
【二六・五五】國民歌謠（東北）
【二七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二七・〇二】國民歌謠（東北）
【二七・一〇】ニュース
【二七・二〇】國民歌謠（東北）
【二七・三〇】國民歌謠（東北）
【二七・四〇】ニュース
【二七・四五】國民歌謠（東北）
【二七・五〇】國民歌謠（東北）
【二七・五五】國民歌謠（東北）
【二八・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二八・〇二】國民歌謠（東北）
【二八・一〇】ニュース
【二八・二〇】國民歌謠（東北）
【二八・三〇】國民歌謠（東北）
【二八・四〇】ニュース
【二八・四五】國民歌謠（東北）
【二八・五〇】國民歌謠（東北）
【二八・五五】國民歌謠（東北）
【二九・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【二九・〇二】國民歌謠（東北）
【二九・一〇】ニュース
【二九・二〇】國民歌謠（東北）
【二九・三〇】國民歌謠（東北）
【二九・四〇】ニュース
【二九・四五】國民歌謠（東北）
【二九・五〇】國民歌謠（東北）
【二九・五五】國民歌謠（東北）
【三〇・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三〇・〇二】國民歌謠（東北）
【三〇・一〇】ニュース
【三〇・二〇】國民歌謠（東北）
【三〇・三〇】國民歌謠（東北）
【三〇・四〇】ニュース
【三〇・四五】國民歌謠（東北）
【三〇・五〇】國民歌謠（東北）
【三〇・五五】國民歌謠（東北）
【三一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三一・〇二】國民歌謠（東北）
【三一・一〇】ニュース
【三一・二〇】國民歌謠（東北）
【三一・三〇】國民歌謠（東北）
【三一・四〇】ニュース
【三一・四五】國民歌謠（東北）
【三一・五〇】國民歌謠（東北）
【三一・五五】國民歌謠（東北）
【三二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三二・〇二】國民歌謠（東北）
【三二・一〇】ニュース
【三二・二〇】國民歌謠（東北）
【三二・三〇】國民歌謠（東北）
【三二・四〇】ニュース
【三二・四五】國民歌謠（東北）
【三二・五〇】國民歌謠（東北）
【三二・五五】國民歌謠（東北）
【三三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三三・〇二】國民歌謠（東北）
【三三・一〇】ニュース
【三三・二〇】國民歌謠（東北）
【三三・三〇】國民歌謠（東北）
【三三・四〇】ニュース
【三三・四五】國民歌謠（東北）
【三三・五〇】國民歌謠（東北）
【三三・五五】國民歌謠（東北）
【三四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三四・〇二】國民歌謠（東北）
【三四・一〇】ニュース
【三四・二〇】國民歌謠（東北）
【三四・三〇】國民歌謠（東北）
【三四・四〇】ニュース
【三四・四五】國民歌謠（東北）
【三四・五〇】國民歌謠（東北）
【三四・五五】國民歌謠（東北）
【三五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三五・〇二】國民歌謠（東北）
【三五・一〇】ニュース
【三五・二〇】國民歌謠（東北）
【三五・三〇】國民歌謠（東北）
【三五・四〇】ニュース
【三五・四五】國民歌謠（東北）
【三五・五〇】國民歌謠（東北）
【三五・五五】國民歌謠（東北）
【三六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三六・〇二】國民歌謠（東北）
【三六・一〇】ニュース
【三六・二〇】國民歌謠（東北）
【三六・三〇】國民歌謠（東北）
【三六・四〇】ニュース
【三六・四五】國民歌謠（東北）
【三六・五〇】國民歌謠（東北）
【三六・五五】國民歌謠（東北）
【三七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三七・〇二】國民歌謠（東北）
【三七・一〇】ニュース
【三七・二〇】國民歌謠（東北）
【三七・三〇】國民歌謠（東北）
【三七・四〇】ニュース
【三七・四五】國民歌謠（東北）
【三七・五〇】國民歌謠（東北）
【三七・五五】國民歌謠（東北）
【三八・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三八・〇二】國民歌謠（東北）
【三八・一〇】ニュース
【三八・二〇】國民歌謠（東北）
【三八・三〇】國民歌謠（東北）
【三八・四〇】ニュース
【三八・四五】國民歌謠（東北）
【三八・五〇】國民歌謠（東北）
【三八・五五】國民歌謠（東北）
【三九・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【三九・〇二】國民歌謠（東北）
【三九・一〇】ニュース
【三九・二〇】國民歌謠（東北）
【三九・三〇】國民歌謠（東北）
【三九・四〇】ニュース
【三九・四五】國民歌謠（東北）
【三九・五〇】國民歌謠（東北）
【三九・五五】國民歌謠（東北）
【四〇・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四〇・〇二】國民歌謠（東北）
【四〇・一〇】ニュース
【四〇・二〇】國民歌謠（東北）
【四〇・三〇】國民歌謠（東北）
【四〇・四〇】ニュース
【四〇・四五】國民歌謠（東北）
【四〇・五〇】國民歌謠（東北）
【四〇・五五】國民歌謠（東北）
【四一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四一・〇二】國民歌謠（東北）
【四一・一〇】ニュース
【四一・二〇】國民歌謠（東北）
【四一・三〇】國民歌謠（東北）
【四一・四〇】ニュース
【四一・四五】國民歌謠（東北）
【四一・五〇】國民歌謠（東北）
【四一・五五】國民歌謠（東北）
【四二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四二・〇二】國民歌謠（東北）
【四二・一〇】ニュース
【四二・二〇】國民歌謠（東北）
【四二・三〇】國民歌謠（東北）
【四二・四〇】ニュース
【四二・四五】國民歌謠（東北）
【四二・五〇】國民歌謠（東北）
【四二・五五】國民歌謠（東北）
【四三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四三・〇二】國民歌謠（東北）
【四三・一〇】ニュース
【四三・二〇】國民歌謠（東北）
【四三・三〇】國民歌謠（東北）
【四三・四〇】ニュース
【四三・四五】國民歌謠（東北）
【四三・五〇】國民歌謠（東北）
【四三・五五】國民歌謠（東北）
【四四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四四・〇二】國民歌謠（東北）
【四四・一〇】ニュース
【四四・二〇】國民歌謠（東北）
【四四・三〇】國民歌謠（東北）
【四四・四〇】ニュース
【四四・四五】國民歌謠（東北）
【四四・五〇】國民歌謠（東北）
【四四・五五】國民歌謠（東北）
【四五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四五・〇二】國民歌謠（東北）
【四五・一〇】ニュース
【四五・二〇】國民歌謠（東北）
【四五・三〇】國民歌謠（東北）
【四五・四〇】ニュース
【四五・四五】國民歌謠（東北）
【四五・五〇】國民歌謠（東北）
【四五・五五】國民歌謠（東北）
【四六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四六・〇二】國民歌謠（東北）
【四六・一〇】ニュース
【四六・二〇】國民歌謠（東北）
【四六・三〇】國民歌謠（東北）
【四六・四〇】ニュース
【四六・四五】國民歌謠（東北）
【四六・五〇】國民歌謠（東北）
【四六・五五】國民歌謠（東北）
【四七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四七・〇二】國民歌謠（東北）
【四七・一〇】ニュース
【四七・二〇】國民歌謠（東北）
【四七・三〇】國民歌謠（東北）
【四七・四〇】ニュース
【四七・四五】國民歌謠（東北）
【四七・五〇】國民歌謠（東北）
【四七・五五】國民歌謠（東北）
【四八・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四八・〇二】國民歌謠（東北）
【四八・一〇】ニュース
【四八・二〇】國民歌謠（東北）
【四八・三〇】國民歌謠（東北）
【四八・四〇】ニュース
【四八・四五】國民歌謠（東北）
【四八・五〇】國民歌謠（東北）
【四八・五五】國民歌謠（東北）
【四九・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【四九・〇二】國民歌謠（東北）
【四九・一〇】ニュース
【四九・二〇】國民歌謠（東北）
【四九・三〇】國民歌謠（東北）
【四九・四〇】ニュース
【四九・四五】國民歌謠（東北）
【四九・五〇】國民歌謠（東北）
【四九・五五】國民歌謠（東北）
【五〇・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五〇・〇二】國民歌謠（東北）
【五〇・一〇】ニュース
【五〇・二〇】國民歌謠（東北）
【五〇・三〇】國民歌謠（東北）
【五〇・四〇】ニュース
【五〇・四五】國民歌謠（東北）
【五〇・五〇】國民歌謠（東北）
【五〇・五五】國民歌謠（東北）
【五一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五一・〇二】國民歌謠（東北）
【五一・一〇】ニュース
【五一・二〇】國民歌謠（東北）
【五一・三〇】國民歌謠（東北）
【五一・四〇】ニュース
【五一・四五】國民歌謠（東北）
【五一・五〇】國民歌謠（東北）
【五一・五五】國民歌謠（東北）
【五二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五二・〇二】國民歌謠（東北）
【五二・一〇】ニュース
【五二・二〇】國民歌謠（東北）
【五二・三〇】國民歌謠（東北）
【五二・四〇】ニュース
【五二・四五】國民歌謠（東北）
【五二・五〇】國民歌謠（東北）
【五二・五五】國民歌謠（東北）
【五三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五三・〇二】國民歌謠（東北）
【五三・一〇】ニュース
【五三・二〇】國民歌謠（東北）
【五三・三〇】國民歌謠（東北）
【五三・四〇】ニュース
【五三・四五】國民歌謠（東北）
【五三・五〇】國民歌謠（東北）
【五三・五五】國民歌謠（東北）
【五四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五四・〇二】國民歌謠（東北）
【五四・一〇】ニュース
【五四・二〇】國民歌謠（東北）
【五四・三〇】國民歌謠（東北）
【五四・四〇】ニュース
【五四・四五】國民歌謠（東北）
【五四・五〇】國民歌謠（東北）
【五四・五五】國民歌謠（東北）
【五五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五五・〇二】國民歌謠（東北）
【五五・一〇】ニュース
【五五・二〇】國民歌謠（東北）
【五五・三〇】國民歌謠（東北）
【五五・四〇】ニュース
【五五・四五】國民歌謠（東北）
【五五・五〇】國民歌謠（東北）
【五五・五五】國民歌謠（東北）
【五六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五六・〇二】國民歌謠（東北）
【五六・一〇】ニュース
【五六・二〇】國民歌謠（東北）
【五六・三〇】國民歌謠（東北）
【五六・四〇】ニュース
【五六・四五】國民歌謠（東北）
【五六・五〇】國民歌謠（東北）
【五六・五五】國民歌謠（東北）
【五七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五七・〇二】國民歌謠（東北）
【五七・一〇】ニュース
【五七・二〇】國民歌謠（東北）
【五七・三〇】國民歌謠（東北）
【五七・四〇】ニュース
【五七・四五】國民歌謠（東北）
【五七・五〇】國民歌謠（東北）
【五七・五五】國民歌謠（東北）
【五八・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五八・〇二】國民歌謠（東北）
【五八・一〇】ニュース
【五八・二〇】國民歌謠（東北）
【五八・三〇】國民歌謠（東北）
【五八・四〇】ニュース
【五八・四五】國民歌謠（東北）
【五八・五〇】國民歌謠（東北）
【五八・五五】國民歌謠（東北）
【五九・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【五九・〇二】國民歌謠（東北）
【五九・一〇】ニュース
【五九・二〇】國民歌謠（東北）
【五九・三〇】國民歌謠（東北）
【五九・四〇】ニュース
【五九・四五】國民歌謠（東北）
【五九・五〇】國民歌謠（東北）
【五九・五五】國民歌謠（東北）
【六〇・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六〇・〇二】國民歌謠（東北）
【六〇・一〇】ニュース
【六〇・二〇】國民歌謠（東北）
【六〇・三〇】國民歌謠（東北）
【六〇・四〇】ニュース
【六〇・四五】國民歌謠（東北）
【六〇・五〇】國民歌謠（東北）
【六〇・五五】國民歌謠（東北）
【六一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六一・〇二】國民歌謠（東北）
【六一・一〇】ニュース
【六一・二〇】國民歌謠（東北）
【六一・三〇】國民歌謠（東北）
【六一・四〇】ニュース
【六一・四五】國民歌謠（東北）
【六一・五〇】國民歌謠（東北）
【六一・五五】國民歌謠（東北）
【六二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六二・〇二】國民歌謠（東北）
【六二・一〇】ニュース
【六二・二〇】國民歌謠（東北）
【六二・三〇】國民歌謠（東北）
【六二・四〇】ニュース
【六二・四五】國民歌謠（東北）
【六二・五〇】國民歌謠（東北）
【六二・五五】國民歌謠（東北）
【六三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六三・〇二】國民歌謠（東北）
【六三・一〇】ニュース
【六三・二〇】國民歌謠（東北）
【六三・三〇】國民歌謠（東北）
【六三・四〇】ニュース
【六三・四五】國民歌謠（東北）
【六三・五〇】國民歌謠（東北）
【六三・五五】國民歌謠（東北）
【六四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六四・〇二】國民歌謠（東北）
【六四・一〇】ニュース
【六四・二〇】國民歌謠（東北）
【六四・三〇】國民歌謠（東北）
【六四・四〇】ニュース
【六四・四五】國民歌謠（東北）
【六四・五〇】國民歌謠（東北）
【六四・五五】國民歌謠（東北）
【六五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六五・〇二】國民歌謠（東北）
【六五・一〇】ニュース
【六五・二〇】國民歌謠（東北）
【六五・三〇】國民歌謠（東北）
【六五・四〇】ニュース
【六五・四五】國民歌謠（東北）
【六五・五〇】國民歌謠（東北）
【六五・五五】國民歌謠（東北）
【六六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六六・〇二】國民歌謠（東北）
【六六・一〇】ニュース
【六六・二〇】國民歌謠（東北）
【六六・三〇】國民歌謠（東北）
【六六・四〇】ニュース
【六六・四五】國民歌謠（東北）
【六六・五〇】國民歌謠（東北）
【六六・五五】國民歌謠（東北）
【六七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六七・〇二】國民歌謠（東北）
【六七・一〇】ニュース
【六七・二〇】國民歌謠（東北）
【六七・三〇】國民歌謠（東北）
【六七・四〇】ニュース
【六七・四五】國民歌謠（東北）
【六七・五〇】國民歌謠（東北）
【六七・五五】國民歌謠（東北）
【六八・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六八・〇二】國民歌謠（東北）
【六八・一〇】ニュース
【六八・二〇】國民歌謠（東北）
【六八・三〇】國民歌謠（東北）
【六八・四〇】ニュース
【六八・四五】國民歌謠（東北）
【六八・五〇】國民歌謠（東北）
【六八・五五】國民歌謠（東北）
【六九・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【六九・〇二】國民歌謠（東北）
【六九・一〇】ニュース
【六九・二〇】國民歌謠（東北）
【六九・三〇】國民歌謠（東北）
【六九・四〇】ニュース
【六九・四五】國民歌謠（東北）
【六九・五〇】國民歌謠（東北）
【六九・五五】國民歌謠（東北）
【七〇・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七〇・〇二】國民歌謠（東北）
【七〇・一〇】ニュース
【七〇・二〇】國民歌謠（東北）
【七〇・三〇】國民歌謠（東北）
【七〇・四〇】ニュース
【七〇・四五】國民歌謠（東北）
【七〇・五〇】國民歌謠（東北）
【七〇・五五】國民歌謠（東北）
【七一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七一・〇二】國民歌謠（東北）
【七一・一〇】ニュース
【七一・二〇】國民歌謠（東北）
【七一・三〇】國民歌謠（東北）
【七一・四〇】ニュース
【七一・四五】國民歌謠（東北）
【七一・五〇】國民歌謠（東北）
【七一・五五】國民歌謠（東北）
【七二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七二・〇二】國民歌謠（東北）
【七二・一〇】ニュース
【七二・二〇】國民歌謠（東北）
【七二・三〇】國民歌謠（東北）
【七二・四〇】ニュース
【七二・四五】國民歌謠（東北）
【七二・五〇】國民歌謠（東北）
【七二・五五】國民歌謠（東北）
【七三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七三・〇二】國民歌謠（東北）
【七三・一〇】ニュース
【七三・二〇】國民歌謠（東北）
【七三・三〇】國民歌謠（東北）
【七三・四〇】ニュース
【七三・四五】國民歌謠（東北）
【七三・五〇】國民歌謠（東北）
【七三・五五】國民歌謠（東北）
【七四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七四・〇二】國民歌謠（東北）
【七四・一〇】ニュース
【七四・二〇】國民歌謠（東北）
【七四・三〇】國民歌謠（東北）
【七四・四〇】ニュース
【七四・四五】國民歌謠（東北）
【七四・五〇】國民歌謠（東北）
【七四・五五】國民歌謠（東北）
【七五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七五・〇二】國民歌謠（東北）
【七五・一〇】ニュース
【七五・二〇】國民歌謠（東北）
【七五・三〇】國民歌謠（東北）
【七五・四〇】ニュース
【七五・四五】國民歌謠（東北）
【七五・五〇】國民歌謠（東北）
【七五・五五】國民歌謠（東北）
【七六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七六・〇二】國民歌謠（東北）
【七六・一〇】ニュース
【七六・二〇】國民歌謠（東北）
【七六・三〇】國民歌謠（東北）
【七六・四〇】ニュース
【七六・四五】國民歌謠（東北）
【七六・五〇】國民歌謠（東北）
【七六・五五】國民歌謠（東北）
【七七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七七・〇二】國民歌謠（東北）
【七七・一〇】ニュース
【七七・二〇】國民歌謠（東北）
【七七・三〇】國民歌謠（東北）
【七七・四〇】ニュース
【七七・四五】國民歌謠（東北）
【七七・五〇】國民歌謠（東北）
【七七・五五】國民歌謠（東北）
【七八・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七八・〇二】國民歌謠（東北）
【七八・一〇】ニュース
【七八・二〇】國民歌謠（東北）
【七八・三〇】國民歌謠（東北）
【七八・四〇】ニュース
【七八・四五】國民歌謠（東北）
【七八・五〇】國民歌謠（東北）
【七八・五五】國民歌謠（東北）
【七九・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【七九・〇二】國民歌謠（東北）
【七九・一〇】ニュース
【七九・二〇】國民歌謠（東北）
【七九・三〇】國民歌謠（東北）
【七九・四〇】ニュース
【七九・四五】國民歌謠（東北）
【七九・五〇】國民歌謠（東北）
【七九・五五】國民歌謠（東北）
【八〇・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八〇・〇二】國民歌謠（東北）
【八〇・一〇】ニュース
【八〇・二〇】國民歌謠（東北）
【八〇・三〇】國民歌謠（東北）
【八〇・四〇】ニュース
【八〇・四五】國民歌謠（東北）
【八〇・五〇】國民歌謠（東北）
【八〇・五五】國民歌謠（東北）
【八一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八一・〇二】國民歌謠（東北）
【八一・一〇】ニュース
【八一・二〇】國民歌謠（東北）
【八一・三〇】國民歌謠（東北）
【八一・四〇】ニュース
【八一・四五】國民歌謠（東北）
【八一・五〇】國民歌謠（東北）
【八一・五五】國民歌謠（東北）
【八二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八二・〇二】國民歌謠（東北）
【八二・一〇】ニュース
【八二・二〇】國民歌謠（東北）
【八二・三〇】國民歌謠（東北）
【八二・四〇】ニュース
【八二・四五】國民歌謠（東北）
【八二・五〇】國民歌謠（東北）
【八二・五五】國民歌謠（東北）
【八三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八三・〇二】國民歌謠（東北）
【八三・一〇】ニュース
【八三・二〇】國民歌謠（東北）
【八三・三〇】國民歌謠（東北）
【八三・四〇】ニュース
【八三・四五】國民歌謠（東北）
【八三・五〇】國民歌謠（東北）
【八三・五五】國民歌謠（東北）
【八四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八四・〇二】國民歌謠（東北）
【八四・一〇】ニュース
【八四・二〇】國民歌謠（東北）
【八四・三〇】國民歌謠（東北）
【八四・四〇】ニュース
【八四・四五】國民歌謠（東北）
【八四・五〇】國民歌謠（東北）
【八四・五五】國民歌謠（東北）
【八五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八五・〇二】國民歌謠（東北）
【八五・一〇】ニュース
【八五・二〇】國民歌謠（東北）
【八五・三〇】國民歌謠（東北）
【八五・四〇】ニュース
【八五・四五】國民歌謠（東北）
【八五・五〇】國民歌謠（東北）
【八五・五五】國民歌謠（東北）
【八六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八六・〇二】國民歌謠（東北）
【八六・一〇】ニュース
【八六・二〇】國民歌謠（東北）
【八六・三〇】國民歌謠（東北）
【八六・四〇】ニュース
【八六・四五】國民歌謠（東北）
【八六・五〇】國民歌謠（東北）
【八六・五五】國民歌謠（東北）
【八七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八七・〇二】國民歌謠（東北）
【八七・一〇】ニュース
【八七・二〇】國民歌謠（東北）
【八七・三〇】國民歌謠（東北）
【八七・四〇】ニュース
【八七・四五】國民歌謠（東北）
【八七・五〇】國民歌謠（東北）
【八七・五五】國民歌謠（東北）
【八八・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八八・〇二】國民歌謠（東北）
【八八・一〇】ニュース
【八八・二〇】國民歌謠（東北）
【八八・三〇】國民歌謠（東北）
【八八・四〇】ニュース
【八八・四五】國民歌謠（東北）
【八八・五〇】國民歌謠（東北）
【八八・五五】國民歌謠（東北）
【八九・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【八九・〇二】國民歌謠（東北）
【八九・一〇】ニュース
【八九・二〇】國民歌謠（東北）
【八九・三〇】國民歌謠（東北）
【八九・四〇】ニュース
【八九・四五】國民歌謠（東北）
【八九・五〇】國民歌謠（東北）
【八九・五五】國民歌謠（東北）
【九〇・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【九〇・〇二】國民歌謠（東北）
【九〇・一〇】ニュース
【九〇・二〇】國民歌謠（東北）
【九〇・三〇】國民歌謠（東北）
【九〇・四〇】ニュース
【九〇・四五】國民歌謠（東北）
【九〇・五〇】國民歌謠（東北）
【九〇・五五】國民歌謠（東北）
【九一・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【九一・〇二】國民歌謠（東北）
【九一・一〇】ニュース
【九一・二〇】國民歌謠（東北）
【九一・三〇】國民歌謠（東北）
【九一・四〇】ニュース
【九一・四五】國民歌謠（東北）
【九一・五〇】國民歌謠（東北）
【九一・五五】國民歌謠（東北）
【九二・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【九二・〇二】國民歌謠（東北）
【九二・一〇】ニュース
【九二・二〇】國民歌謠（東北）
【九二・三〇】國民歌謠（東北）
【九二・四〇】ニュース
【九二・四五】國民歌謠（東北）
【九二・五〇】國民歌謠（東北）
【九二・五五】國民歌謠（東北）
【九三・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【九三・〇二】國民歌謠（東北）
【九三・一〇】ニュース
【九三・二〇】國民歌謠（東北）
【九三・三〇】國民歌謠（東北）
【九三・四〇】ニュース
【九三・四五】國民歌謠（東北）
【九三・五〇】國民歌謠（東北）
【九三・五五】國民歌謠（東北）
【九四・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【九四・〇二】國民歌謠（東北）
【九四・一〇】ニュース
【九四・二〇】國民歌謠（東北）
【九四・三〇】國民歌謠（東北）
【九四・四〇】ニュース
【九四・四五】國民歌謠（東北）
【九四・五〇】國民歌謠（東北）
【九四・五五】國民歌謠（東北）
【九五・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【九五・〇二】國民歌謠（東北）
【九五・一〇】ニュース
【九五・二〇】國民歌謠（東北）
【九五・三〇】國民歌謠（東北）
【九五・四〇】ニュース
【九五・四五】國民歌謠（東北）
【九五・五〇】國民歌謠（東北）
【九五・五五】國民歌謠（東北）
【九六・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【九六・〇二】國民歌謠（東北）
【九六・一〇】ニュース
【九六・二〇】國民歌謠（東北）
【九六・三〇】國民歌謠（東北）
【九六・四〇】ニュース
【九六・四五】國民歌謠（東北）
【九六・五〇】國民歌謠（東北）
【九六・五五】國民歌謠（東北）
【九七・〇〇】時報（各局）正午の時報（東京）
【九七・〇二】國民歌謠（東北）
【九七・一〇】ニュース
【九七・二〇】國民歌謠（東北）
【九七・三

(第二種郵便物認可)　昭和十四年一月十六日（月曜日）　臺灣日日新報　第一万三千九百四十八號　A（五）

清水溪の原生林は 山中稀有の耕地

玉里から僅か廿キロ 開發には好條件揃ひ

花蓮港廳下里部落清水溪上流約十七キロの地点なるラクラク社、バランサック社等の關係ある大原生林地帶に對する農務下里郡守等一行二十五名の調査團は一月七日より同十二日の五日間に亘り決行せられたが、此の結果に據れば同地帶は清水溪左右兩岸に跨がり、海拔二千五百尺乃至二千尺内外に亘る緩漫なる波狀形狀の部落にして約五百戸の臺耕移民の收容を為し得べく期待されてゐる、氣候風土は一見内地の山村を髣髴せしむるものがある、交通路線としては玉里より約二十キロの自動車路線と其の事業に當たるものであり、當廳の山地開發上多大なる收穫であり、急速に交通路の開發が要望せられてゐる

岡山頭新溫泉

南部の景勝地として知られ 新春開場から大賑ひ

【岡山發電】廣部の觀勝地として新に發見した高雄州岡山郡岡山頭溫泉は愈々新春から開場の運びとなつたが、地元民は勿論遠く高雄、台南、屏東、恒春等の人氣を呼び日々かなりの來客あつて賑つてゐるが特に郡からの附近を網羅した小川は大滿足、滿み船が戰後自發的實施の二大國策は勿論この溫泉の氣を養ふに足るもので而も其の源に含まれてゐる多量のアルカリ性分は殊に宣しく各島的に見ても稀有な特色である、從つて内地よりの湯治い植物を多數植付る豫定であり恐らく一大觀光地を實現するも遠き將來ではあるまいと見られてゐる

列格奉告祭 打合會

參拜催物も決定

【臺中電話】臺中州廳では愈々來る廿四日擧行の臺灣神社の列格奉告祭に列席したのを初め十四日から翌十五日に付き左の通り

一、臨時會開催に關する件
四月三日正午臺中市に於て實施
一、祝賀會開催に關する件
同日祝賀會を臺中公會堂に於て開催
一、知事官舍新築に關する件
年度から三年繼續事業として左記新築が行はれる
記
一、御手洗所改築　千五百円
一、中門建設　二千円
一、中堀普請修繕　二千五百円
一、練塀新設　四千円

部落を美化

計一万円

臺中州員林郡下各保甲組合ではマラリア防遏其他衛生事業の徹底を期する為め數日時から全部下を通じて保甲民總出で清掃實施、部落美化の奉仕作業を盛んに實施中である

梧棲築港査定通過 感謝電發送

臺中商議所總會で決議

【臺中電話】臺中商工會議所臨時議員總會は十五日午後一時より市民館にて開催、岡田、横田、猪股、坂本三副會頭、田中勝會頭以下議員二十二名中二十七名が出席し臨時總會に移り梧棲築港に關する感謝電發送の件を附議、滿場一致可決、大藏、拓務兩大臣、小林鐵道、森岡總督、各宛感謝電を發送した

商工高雄の指針 奬勵館落成

きのふ盛大に擧式

【高雄電話】この程竣工を見た勸奬館は當地に於ける商工業の指導本部たる高雄州の商工奬勵館で十五日午前十一時より新館二階會議室にて落成式を擧行したが來賓多數參列、理加廳長、岡田知事、内藤財務局長、林業試驗所長、林學校長、商工會議所會頭、同副會頭、各會社重役、各商店主等百餘名參會、先づ理加廳長は十六日役員が發令され次いで代理出席の岡田知事の祝辭、岡田市尹に對する感謝狀贈呈、時間の關係上祝辭は省略、官民が協力して本館を建設したことは實に意義深く今後の大合市の發展に對し多大の期待を有つものである旨述べ、次で内藤財務局長、林業試驗所長、商工會議所會頭、岡田知事の祝辭あり、午後一時散會、引續き第二回市勢調査會に移り、種々協議の上午後五時頃散會した

洗濯場を新築して 白衣の勇士に贈る

有志が材料を持寄り

【臺南電話】臺南州下有志が材料を持寄り、同州下各地の傷痍軍人に不便を感ぜしめて居るので慰問の意味を以て洗濯場を建設することとなり、十四日午後一時より郡會議事堂に於て關係有志が會合協議の結果、左の如く決定、即日實施に着手した

一、洗濯場は臺南市内に設置し、臺南州下各地の傷痍軍人の洗濯物は一切之を引受け洗濯すること
一、洗濯場は臺南州下有志の寄附金を以て建設すること
一、洗濯場の經營は臺南州下有志の組織する團體に委託すること
一、洗濯場の建設費は一萬円を以て豫定すること
一、洗濯場の建設は二月一日着手し三月末日迄に竣工すること

高砂族國演會

一百三十六名高雄に下山し 一月十四日堀江小で

【高雄電話】高雄州下高砂族少年少女及び青年團員等一百三十六名を動員して行はれる國語演習會並に國語學藝會を兼ねて二月十四日午前九時より高雄市堀江小學校で開催に決定したが、同演習會終了後皇紀二六〇〇年奉祝會主催の高砂族少年團體對抗競技大會を開催し良者を選拔し白衣の勇士を慰問する豫定である

少年團員進級考査

【高雄電話】高雄州聯合少年團健

生れ變れば 屑でも寶〟

〝 員林郡で廢品回收

【員林電話】台中州員林郡では銃後資源愛護の為めの國事奉仕として長期に亘つて廢品回收の一大運動を起す事となつた、回收品目は毛織物類、綿及木綿織物類、金屬類、紙類、古ゴム等で尚ほ各家庭から、生れ變れば屑でも寶、赤誠一心廢品回收〟等をスローガンとする宣傳ビラを一般大衆へ配付、本運動の万全を期する筈である

社會敎化大會

十四日員林郡で

台中州員林郡主催の社會敎化委員大會は既報の通り十四日午後一時半より大會席守、名本郡守開會以下係官、街庄長、敎化委員、振興會長等二百餘名列席の下に員林小學校講堂で開催、聖の御一節、勅語奉唱、國歌奉唱後、大關郡守の訓示あり、次いで優良部落會員林郡田中庄田淵振興會に對し表彰狀を授與終つて午前十時半より各街庄代表より（一）大東亞奉祝實施狀況（二）新生月間行事狀況（三）振興會活動狀況（四）今後施設せんとする重要事項等に就き各甲、それより時局問題で近く實施の協議事項、指示事項、注意事項等あつて同五時過ぎ散會した

商工銀行支店 彰化に新設か

彰化街には支店を新設すべく内々調査中のところ最近當地商工業者より設置方を依頼したので同氏には目下作成方を依頼したが既に署名者五十餘名に達したので近く當局へ提出する取運びとなつてゐる

鄉軍射擊會

【花蓮港電話】鄉軍花蓮港聯合分會主催の射擊大會は十五日午前九時半より鯉淵射擊場に行はれ管内各分會及び在鄉分會の選手百数十名參集午前中は花蓮港聯合分會、午後は台東、花蓮港兩分會對抗の競点射

水稻の裏作に 亞麻を試作

生育は頗る順調

【鹽水電話】鹽業部では長期雇員の一助とし

〝生れ變れば 屑でも寶〟

員林郡で廢品回收

【員林電話】台中州員林郡では銃後資源愛護の為めの國事奉仕として長期に亘つて廢品回收の一大運動を起す事となつた、回收品目は毛織物類、綿及木綿織物類、金屬類、紙類、古ゴム等で尚ほ各家庭から、生れ變れば屑でも寶、赤誠一心廢品回收〟等をスローガンとする宣傳ビラを一般大衆へ配付、本運動の万全を期する筈である

社會敎化大會

十四日員林郡で

台中州員林郡主催の社會敎化委員大會は既報の通り十四日午後一時半より大會席守、名本郡守開會以下係官、街庄長、敎化委員、振興會長等二百餘名列席の下に員林小學校講堂で開催、聖の御一節、勅語奉唱、國歌奉唱後、大關郡守の訓示あり、次いで優良部落會員林郡田中庄田淵振興會に對し

二百萬圓を擁する 公業、神明會を解散

民風作興上徹底的に 斷乎！員林郡が示範

【員林電話】台灣文化史上の壓と會、寺廟の如きは國家總動員體制下に於ける國民精神作興上好ましからざる存在であるとの見地から台灣總督府に於ては既に數年前より之が整理に着手し昭和十年末迄に全島に亘る整理を終了すべく夫々實行に移されつゝあるが、員林郡に於ても之が實行

生ける石炭

(五)

本をめぐる綺談

宮崎震作

さつき廊下で話した眞盛昌と云ふ学生のことだがね。この男のことで僕は少し気掛いことがあるのだ。もう二四年前の話だ。或る晩学生が二人連びに来た。色々話してゐる中に本田と云ふ男が、時に先生、面白い事があるんですがねと云ふので、また懇談で喜ばれた話かと聞くと、そんな平凡な事ではあるまさんと云ふ。

「何たね、一體……」

「実は、こいつの妹の事ですが」

と本田は照れの石本と云ふ学生を眺めてニヤ〳〵笑ふと「おい止せ止せ」と石本は盛んさうに顔氣になつてゐる。

「いいぢやないか、話したつて……別に君の妹の人格に關するわけではなし……」

「妹の人格はどうでもいいが、ほかに懇談する者がゐるが」

「何が懇談なもんか。懇談するのは却つて眞盛の方だら。少し悪らしてやるのがいいのだ」

「何だか知らないが、大分面白さうな話だね。石本君の妹さんがどうかしたのか」

と、僕もつい釣りこまれて言つた。

「実はね、先生、石本の妹に、懇文を送つて来た奴があるんですがね」

「懇文?そんなものは即に葬らしくあるまい。平凡だと」

「所がそれを送つた奴が珍らしいんです」

「ふゝん。で、眞盛は石本君の妹さんだと知つてそれを書いたのか」

「それが知らんでそんな事をしたら、投書箱にされますよ。わはゝゝゝ」

柔術四段の石本は仕方なしに苦笑してゐる。

「何かね、石本君の妹さんはラグビーを見に行きでもするのか」

と、僕が尋ねた。

「さうなんです。うちの学校の出る試合は、殆ど缺かした事がないですから、妹さんの方から眞盛昌だと云ふことを知つてゐるが、先方はこつちが石本の妹だとは知らないで、手紙を送つて来たらしいんです」

「成程れ」

「所が驚き出して仕舞つた」

と、僕は一寸判らなかつた。

尤もユーリットが此の小説の中に書いてゐる或る事件そのものまでが、果して事実であつたか、どうかそれは知らん。然し、出て来る人物はさも云つたやうに、チノにしろセルバギアと云ふ女にしろ現実在の人物で、ブリタニカ帝にもちやんと載つてゐるから、まあ一種の評論的実小説だらうと思ふのだ。

そのチノが未だ若い頃、丁度その頃は例のグルフ熱とギベリン熱の最絶頂の時分だつたが、その家にお客として滞在してゐた何とか云ふ女に惚れて、度々手紙やお手のものの詩を作つて送つてゐた。その詩の中に確かに「生ける石炭」と云ふ言葉のあつたのを、其の時ふと僕は思ひ出したのだ。どう云ふ詩であつたか前後は忘れたが、まだ其の詩も実際チノ自身が作つて女に送つたのか、それとも後世の作者であるユーリットが勝手に自分で作り出したのか、その辺の所もとより僕には解かでない。が兎に角、お前の客はすべての女は皆に彼女の魂の外殻にすぎない、またお前の魂もお前が作るのではなくて、彼女が生ける石炭となつてお前の魂を燃やしそして最後はせるのだ、と云ふやうな句なのだ……。

「へえ、眞盛昌の手紙とよく似てゐますなあ」と、本田がさも感に堪へたと云ふ風に顔を輝やかした。

「それからどうなるんです」

「所がれ」と、止せばいいものを僕も調子に乗つて續けた。「そのセルバギアと云ふ女には兄貴がゐるのだ……」

「兄貴なら、ここにも一人ゐますがれ」と、本田が石本を見やる。

「二人やない。二人ゐるんだがその二人とも単人なのだ。しかもさうきまつたやうに、グルフ党との組織で互には熾烈な氣分で張り切つてゐる党の二人の兄貴に、チノが送つた詩だから、その詩の中には、どうしても党派的な文句が入つてゐるわけだ。従つて、その詩を見た兄貴の一人は、チノの詩を送つた女に対して、ギベリン党の一人は、チノに対して、各々自分の党派に入れようと、ひつぱりだこの競争をやつたのだ。

「ふゝん、僕も聞いた事がある。十九世紀終り頃の英国の作家で、ユーリットと云ふ人の書いた小説の中に、やつぱりそんな言葉があつた」

「へえ……、どう云ふ小説なんですか、先生」と、本田がからだを乗り出して来た。

そこで僕はかういふ「リッツル・ノーベルス・オブ・イタリー」と云ふ叢書の中に收められてゐる、「チノ氏と生ける石炭」と云ふ小説の筋を本田や石本に話してやつたのだ。

此本は一寸考へると、イタリーの小説をユーリットが態〻でもしたやうに聞こえるが、さうではなくて英国人であるユーリットと云ふ小説家が、当時のイタリー人を主人公にして書いた小説の態作集なのだ。そしてチノと云ふのは本名はギットンチノ何とか云ふのだが、普通チノ・ダ・ピストヤで通つてゐるイタリーの実在の人物で、ダンテの友人であればペトラルカの先輩でもあつたと云ふやうな、そして若い頃は詩人としても政治家としても有名な人物なのだ。

「どうしても白状しないね。大體見当もついてゐるけれど……」

「わたしにも見通しがついてゐるのよ、にこにこしてゐて氣味が悪いわ」

「結婚前の女つて何かいやらしい氣がしない?極りのわるいくらゐ嫉しがつてゐるのは彼に綺麗な感じがしたいわ、美しい氣がするのが當り前なのにね」

よし枝は差縄につき込んで云つたが、それは心から遊り出たやうないやらしい氣持であつた。

「人にまよりけりだわ。あまり親しい人と愛人、ことに良子さんの場合は隠してゐらつしやるからいやなのよ」

「嫉しうにしてゐるのを見ると悪らしい氣がするわ」

よし枝は年下の良子がまだ人並にもお嫁の話が持やあがつてゐるのに、嫉のいい迹には関としても何か関係がなさすぎるやうな氣がした。よし枝はまだ三年も嫉めてゐる覚悟にたのんで良子を入れたのも自分たれば、事務の執り方の細かい注意や敬へ方にも随分気を

窪田空穂

東山寺々になる晩鐘の聲

配つてゐるやうだ。

「わたしは年下の良子が嫌いだから、こんな事を言ふのではないが、良子は嫉の前では随分猫を被つてゐるわ。あの子の本性は決して嫉の前で見せないわ」

「猫の被りやうの上手な女ほど、本性を見せた時は恐ろしいものだ。良子さんは、まだ猫の被りやうが下手だから、本性を見せてゐるのだ。本性を見せてゐる間は、まだ安心だ」

「割手は誰か知ら?」

「そんなことどうでもいいけれど人にさんざん世話を焼かせて一言も話をしないで退社したらわたし承知しないから」

よし枝は若しさういふ場合には良子をのして嫉るための策略をあらかじめ胸に用意して嫉たかつた。

「でも待物なんかすごく変つたわ」

「嫉の浮くやうな廃物ばかり持つてゐるので初めらないやうやの。」

「でも、それだけ嫉めるのも変よ」

氣の小さい方は断固された恩ひでさう云つたが、よし枝は、さういふ言方を敢な氣持で氣色んで見すゑた。

「誰だつて結婚といふ問題が起れば嫉のものは照へられるものよ、必要品なんですもの」

「誰だつて二十四ぢや嫁にやれる年齢ぢやね」

「いやなね、人の娘子の結婚なんかさつて。」

「だつて変なんだもの。」

「ならあなたも嫁つたらいいでせうに。」

よし枝はすつかり不快になり、赤い間一緒につとめてゐる仮ちの腹の変事を見捨いた冷淡さが悲しられ、今明日からなるべく親しいロも利くまいと思ふ程だつた。

だが、それにも拘らず良子の待物のすこし変り方を読んで、それらゆつくりとのべるわ、たかが女事務員が嫁てゐる間にどんな に素晴らしいなり振りをしたつて 却つて世間的には可笑しいくらゐよ」

「でも、身のまはりの物ができると感じ人に見せたい気持がするものよ」

「妙にあなたは良子さんのおひいきをなさるのね」

たにし

喜友名英文

たんぽのたにしはなぜ啼ら
一挙げたでひつこした。
たんぽのたにしは白さきに
おめめをとられてひつこした。
めくらのたにしはたんぽみち
あふくふきふひつこした。
たんぽのたにしは白さきを
うしろに見い〳〵ひつこした。

「そんなことはないのよ」

信乃は同僚の頑いろに慰いものを感じて、慌てて云ひ足した。

「あたしだつてあんなに堅苦しい人があんなに堅るものかと思つてゐるくらゐだわ」

「たとへいろいろな物を嫉られたつて貴社にまで身につけてこれ見よがしにしなくともいいやないの。」

よし枝は女のさかりを過ぎた、いかにも女事務員らしい疲れを顔全體に表はしてゐたが、良子のことで妙に興奮したときの彼女は、ことさらに艶い氣がした。信乃は彼女よりも三つも若く綺麗のうへでは、信乃自身の言葉をかりていへばよし枝の顔を見るのに社員は無作法ほど真正面から見るが、信乃の場合はまるで過つたいたはりを持つて見るといふのであつた。

そこに信乃は自分の美しさに自信があつたし、よし枝はまるで社員の感情をうごかすものないことを暗示してゐふのであつた。

ともあれ良子の動静は、悉くよし枝を監視にとり込め、良子のことではここによし枝の機嫉の悪くなるのを見抜つた。それほど良子の前では信乃は或る時は心にもなく良子を悪く云はなければならなかつた。

★創作★ 結婚前

(一)

室生犀星

蕊しばらくの間に學子の身のまはりの物がすつかり見違へるやうに新しい流行服の裳身をもつて差恥られた。しじゆら嫉しさうな顔をみをうかべて、或る時は溜息を抽つて安心しさうてゐるやうでもあり、或る日は時計ばかり氣にしてゐる姿な時もあつたが、大體に於てよし枝や信乃の嫉には良子がおそくとも来月のはじめには會社を退くのであらうと思つた。同じ退くにしても来月にはいつて退けば月はじめであつても、その月の給料が貰へたからであつた。

「どうしても白状しないね。大體見当もついてゐるけれど……」

「わたしにも見通しがついてゐるのよ、にこにこしてゐて氣味が悪いわ」

「結婚前の女つて何かいやらしい氣がしない?極りのわるいくらゐ嫉しがつてゐるのは彼に綺麗な感じがしたいわ、美しい氣がするのが當り前なのにね」

よし枝は差縄につき込んで云つたが、それは心から遊り出たやうないやらしい氣持であつた。

「人にまよりけりだわ。あまり親しい人と愛人、ことに良子さんの場合は隠してゐらつしやるからいやなのよ」

「嫉しうにしてゐるのを見ると悪らしい氣がするわ」

よし枝は年下の良子がまだ人並にもお嫁の話が持やあがつてゐるのに、嫉のいい迹には関としても何か関係がなさすぎるやうな氣がした。よし枝はまだ三年も嫉めてゐる覚悟にたのんで良子を入れたのも自分たれば、事務の執り方の細かい注意や敬へ方にも随分気を配つてゐるやうだ。

「猫の被りやうの上手な女ほど、本性を見せた時は恐ろしいものだ。良子さんは、まだ猫の被りやうが下手だから、本性を見せてゐるのだ。本性を見せてゐる間は、まだ安心だ」

「割手は誰か知ら?」

「そんなことどうでもいいけれど人にさんざん世話を焼かせて一言も話をしないで退社したらわたし承知しないから」

よし枝は若しさういふ場合には良子をのして嫉るための策略をあらかじめ胸に用意して嫉たかつた。

「でも待物なんかすごく変つたわ」

「嫉の浮くやうな廃物ばかり持つてゐるので初めらないやうやの。」

「でも、それだけ嫉めるのも変よ」

氣の小さい方は断固された恩ひでさう云つたが、よし枝は、さういふ言方を敢な氣持で氣色んで見すゑた。

「誰だつて結婚といふ問題が起れば嫉のものは照へられるものよ、必要品なんですもの」

「誰だつて二十四ぢや嫁にやれる年齢ぢやね」

「いやなね、人の娘子の結婚なんかさつて。」

「だつて変なんだもの。」

「ならあなたも嫁つたらいいでせうに。」

よし枝はすつかり不快になり、赤い間一緒にうとめてゐる仮ちの腹の変事を見捨いた冷淡さが悲しられ、今明日からなるべく親しいロも利くまいと思ふ程だつた。

だが、それにも拘らず良子の待物のすこし変り方を読んで、それ

世界文藝の流れ

◇ヴァイキング・プレス関係の作家たち

ヴァイキング・プレスは同書肆から出版した作家たちの最近の活動を報じてゐる「私の娘子、私の娘子よ!」の著者ハワード・スプリングはロンドン・イヴニング・スタンダードの批評家としてつづけてゐるが、新しい小説にもかかつてゐる。ユーゴー・スラヴィアを数回訪れ、足跡深きレベア・ウエストの理解の行届いた研究である。ユーゴー・スラヴィアに關する作はすつかり出来上つてゐる

シルヴィア・ワーナーは、彼女の新しい小説「ジン・ファンの死後」を仕上げてゐる。メキシコからロンドンへ最近移つたばかりのグラハム・グリーンは早速新しい仕事にとりかかる筈である。ステファン・ツワイグはロンドンに住んでゐるが、彼の最初の長篇小説を完成した、シイグリイド・サスーンは彼の二十一歳の自叙傳「狐の世紀」を終へた

リオン・フオイトワンゲルはパリ市に集音をとつた近代小説の最後の章を書いてゐる。ジェームス・ジョイスは一年前に「進行中の仕事」と題する第三部の小説に近づいてゐる。スチュアート・ギルバートはノーベル文学賞の最近の受賞者ロジャー・マルティン・ヅ・ガルドの英書を飜訳しつつある。以上のものはいづれもガバイキング・プレスから刊行される筈定である。

◇パール・バツクの近況

パール・バツク女史は去る十二月十日ストツクホルムで開かれたノーベル文学賞授與式で賞を受けにエストデンへ向け出發した。彼女は彼女の新しい小説「愛国者」の後の章を仕上げに持つて行つた、この新小説は二月にジョン・デイ會社から出版される筈である

◇八千百十三年まで

サア・ホール・ケインの「クリスト傳」の一册(ダブルデイドーラン社刊)は目下ジョージアのオグレソープ大学で敎鞭されてゐる彼の甥の地下に收むべき柩に入れられて敎小フイルムに記られる筈定である。この柩の発見はスターンレス・スティールの地下室に保管され、紀元八千百十三年まで発掘されないで保管されることになつてゐる

頭痛・神経痛・歯痛に
とても良く效く
カイン
—各薬店にあり—

断乎として金を使用せず
プラチナ萬年筆
¥2.00以上
▼金ペンよりも書きよい耐久性の新發見
▼吸入が簡單で中のインキがよくわかる
▼修繕のいらない堅牢な萬年筆

●頭痛にノーシン●

硬いクリームは小じわをつくる

艶のなくなつたヒフを擴大してみると…

それが動くたびに、くせになつて集つて、小じわになる

バニシングをぬると顔がちよつと硬つた様な、うす皮をかぶつた感じになりません?

もし、そんなバニシングだつたら、若い方でもたん〳〵ヒフの艶がなくなつてきません?

思ひもよらない事ですが、艶のなくなつたヒフを顕微鏡でみると、無數のひゞや荒れでちりめん皺(肉眼的の様になつてゐるのです。

そして、それが動くたびに集つて、次にはもう肉眼で分る小皺(肉眼的)になるのです。

なぜ、そんなバニシングもあるかといふと、

クリームは元々、水と油とをまぜて作るので、それにはちよつと洗濯の時分るやうに、石鹸分を入れると、水と油が混り易いので、その方法で作つたからなのです。

石鹸がヒフにもお化粧にもよくないのはご承知でせう。

このクレームには、悪い石鹸分リスリンを使はないで作ることに成功したのです。

だから、そんな厚みも、硬ばる感じもないのです。

そして油の中で世界最高といはれるオリーブで作つたのです

粉と同様バニシングの世界的發明といつていゝと思ふ。

これ迄のバニシングと原料も製法もまるで違ふからやわらかくて變かもしれません。これ迄の半分量で使つて下さい。

パピリオクレーム

CA普通バニシングの方に、男小供もB荒れ性の方や寒い時のバニシングに、これは化粧下、薄くよくのばせば、白粉が遠くつきいて永くもつ。

寒夜に豪雨を衝き 陳村の敵を殲滅

秋富部隊北端より進撃

【陳村にて濱中本社特派員發】陳村は佛山鎮の東南方約十粁の地で佛山鎮と九江との中間に位する要衝の地、ここには國軍遊擊隊第三支隊司令部があり

自衛 團を合して約二千の兵力を有し附近の最重要據點として出現しては敵前ゲリラ戰法を試みてゐたのである、我が方は一擧にこの遊擊隊を殲滅すべく 四日未明を期して我の大部隊をつかつて、野々木部隊は○○部隊一部、それに平野○○隊が協力して北端より

秋富部隊の主力、北川部隊が指揮する一隊、山ノ内部隊の○○部隊は東端より四日午前八時を期して總攻擊に移つたのであるが、記者は野々木部隊に從つてこの時從軍の機關振りを目のあたりに見た

四日朝五時○○より勇士は枚を ふくんで陳村へとクリークの波をけつて進擊、折り惡しく降り出した雨は

車軸 を流すが如く勇士の鐵兜を傳つて我衣を流れ服とする、寒さは手足の感覺もなくなる様な寒い朝で、眞暗闇のクリークにエンジンの音のみ高く響く

困難な戰路を舷を相摩しつつ只進む、敵陣々々としてはならない武裝をとく間もなくして眞暗

となつて勇士は川に組りこむ、盲人の手探りにも似たクリーク進擊は、はたしてどれだけの時間をとつたら?、記者は監物警戒の指揮する一隊と共にさうと自分の箇所にとどりつつた崖近く甘蔗畑があり潜り〳〵進んで行くと蘆葭に出た、導くから銃聲が高くきこえて來る、間髪の部落である、陳村の攻擊隊は遠初一發の

足音 がして犬がしきりと吠たてる烈し我が方はじつと敵撃をさけて待機、間もなく八時すぎ、物凄い○○砲一發、東北南端よりする我が軍には この砲聲を合圖に

一齊に猛烈な砲撃を敵陣に集中、この砲聲は大小のクリークが殷いでその周囲には

敵の陣地は大小なす甘蔗畑があり迫ると見れば機關銃を浴びせる狙撃、今、進擊には困難な地形であつたが我が勇士の前には機動演習にしか考へられない討匪戰である、雨をし

のぎ敵陣に肉迫、陳村の攻擊隊は遠初一發の砲聲で敵陣ら開始、二方に方面より派遣されたものらしく市

退路 を求めて逃げ込んだところ

かまつつと逃げ詰めた、然し逃げ道は占領し警備中の勇士の銃剣にふさがれ、小銃を以て部落の周圍から小銃にも小銃彈を浴み射者の後つた敵物部隊長以下の前面でさへ一人の小銃彈がとんで來た、我が方の銃聲はこれ等を殲滅しこれ等を殲滅

手前味噌のデマ

司令部・壁新聞で強がり

前夜 の夢は考へただけでも哀れである、市内の情況は一月三日迄のものが殘つてゐるのだから全く後等にして見れば神經衰弱者か軍事の連續振りには驚おくところを知らなかつたであらう、敵が敗退に際して放つた火は烟々天を焦して終夜陳村の空を赤に染めた、我が軍には この砲聲を合圖に

一齊に猛烈な砲撃を敵陣に集中、この砲聲は大小のクリークが殷いでその周囲には

敵の陣地は大小なす甘蔗畑があり迫ると見れば機關銃を浴びせる狙撃、今、進擊には困難な地形であつたが我が勇士の前には機動演習にしか考へられない討匪戰である、雨をし

のぎ敵陣に肉迫、陳村の攻擊隊は遠初一發の砲聲で敵陣ら開始、二方に方面より派遣されたものらしく市

軍旗 其他を奪還、秋富部隊凱旋

隊凱旋の小統主將、チエツコ統一策其他を奪還した外軍用米五百俵、騾馬百餘、糧五万斤を押収した、意外の收穫であつた

が、秋富部隊石川上等兵は攻擊直前腹痛に一顆をうけて負き後送となつたのは勇士一同の泣を殺らしめた

敵の中隊長を生捕る

松川部隊の勇士が

【陳村にて濱中本社特派員發】陳村攻擊隊の勇士が陳村を攻めた部々本部は一夜を陳村に明かして擊五日拂き拂けたが、この時、敵の中隊長を生捕るの意氣に燃えた松川部隊指揮官は

敵の中隊長を生捕るの意氣に燃えた松川部隊指揮官は

無敵双葉山も遂に黒星

【東京十五日發同盟】安藝の海に双葉山は強敵なし、張りで安藝双葉の懐を狙つて組み合ふうちに左

基隆海外渡航協會

きのふ盛大な發會式

【基隆電話】東部新興健設のため台灣から人的に物的資材を提供する事は本島の地理的經濟的關係から最重要な事であり、從來の如く一擧十萬を叫ぶ様な安易なる渡航者を濫造し正しい人物を大陸へ送り出すべく渡航者の取締指導方至上目下調査の目的を以て今回基隆海運協會が設立され十五日午後一時から基隆公會堂に於て創立發會式が挙げられた、出席會員一百六十餘名、來賓總督府より官、佐々木警務部長、日高外事課長、矢野市尹等五十餘名列席、顧問有馬氏の開會の辭、何應欽氏の經濟援助に關する演說に次いで吉原民政長官に代り松川參事官より

の新期的な新體制には大きな

期待 をかけてゐる、右につき臨席者代表者間では

昨年の議會にすゝめ今回の發會と同樣な趣旨を持つた基隆共同組合法案が提出された經で民心の

日支親善を叫ぶ

金瓜石の華僑新民公會

昨日創立總會と發會式

【基隆電話】基隆金瓜石華僑新民公會は設立總會と發會式を十五日午後二時より金瓜石公學校講堂において擧行されたが、當日は福岡大學講師として來基中の

清水少佐戰死

【○○十四日發同盟】十四日廣東戰線に於て、谷口部隊戰死者 歩兵少佐 清水 亮作（山川市）

地方からの團體ドツと來る

代用品展賑ふ

代用品週の十五日は好天の日曜とて開市と同時にドツと殺到する一般入場者と小學校生徒の地方團體を收容するに苦心を

文藝興亞會を結成

全文壇人が一丸となり 大陸文化の提携を叫ぶ

【東京十五日發本社特電】國民文學、戰線文學や大陸開拓文藝懇話會の成立に次いで今度は更に全文壇を打つて一丸とした文藝興亞會が結成され新東亞の建設に積極的に協力する事となつた、陸軍報道部の後援の下に來る廿日發起人會を開き、會則の決定、十四日右四省大臣の連名で全國各地方長官に訓令を發し、これに基いて十六日から文部省の實年學校義務制實施準備に際し特に十七日午前九時三十分から陸軍省主催の學務部長會議を開き、これの徹底を期すると共に速かに組織を促すことゝなつた、尚當日各町村には自發的に「銃後奉公會」「國民義會」「軍人後援會」と名稱々の團體が生れ夫々活潑なる活動を續けてゐるが統一を缺いた爲め擧の運營がなく、爲めに活動が円滑に行はれぬこともあつたので先づこれが統一を圖り差當つては軍事援護の强化を圖ると共に是を母體として地方自治の振興隆昌、共助等を行ひ戰時體制に副ふ總合的な銃後團體として實質的には國民組織を代行する新組織とも見られてゐる、尚この銃後奉公會は地方長官の監督指導の下に

長期建設戰に對處し 「銃後奉公會」を結成

軍事援護事業の統一强化

【東京十四日發本社特電】興亞の長期建設に備へて陸、海、陸軍、內務の四省は過般來全國の各市區町村を擧げて强力な銃後團體の總合組織を新規中であつたが愈々

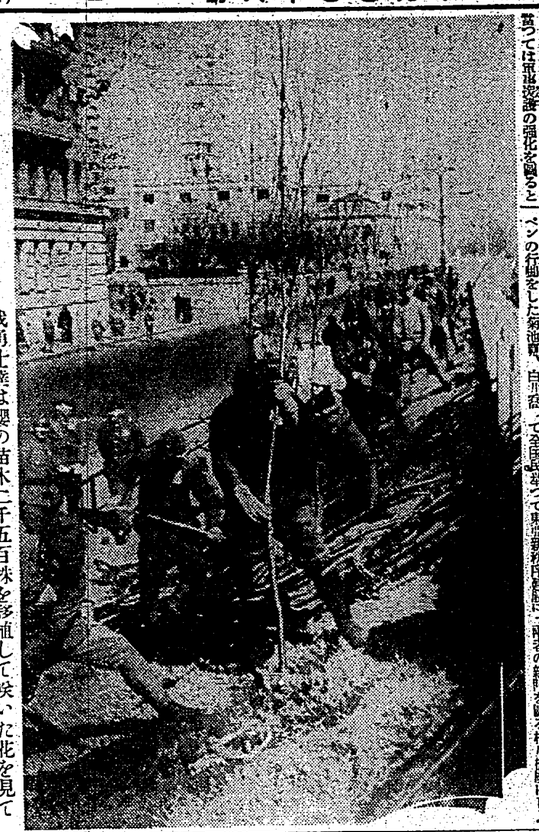
名稱 を「銃後奉公會」と決定、十四日右四省大臣の連名で全國各地方長官に訓令を發し、これに基いて十六日から文部省の實年學校義務制實施準備に際し特に十七日午前九時三十分から陸軍省主催の學務部長會議を開き、これの徹底を期すると共に速かに組織を促すことゝなつた、尚當日各町村には自發的に「銃後奉公會」「國民義會」「軍人後援會」と名稱々の團體が生れ夫々活潑なる活動を續けてゐるが統一を缺いた爲め擧の運營がなく、爲めに活動が円滑に行はれぬこともあつたので先づこれが統一を圖り差當つては軍事援護の强化を圖ると共に是を母體として地方自治の振興隆昌、共助等を行ひ戰時體制に副ふ總合的な銃後團體として實質的には國民組織を代行する新組織とも見られてゐる、尚この銃後奉公會は地方長官の監督指導の下に

市區町村長を中心とし地域內の全戶を含み關係同省當局に因る銃後團體人援護會と連絡國民義會の組織を基調に精神的には勿論物質的には報立金制度により共濟組合的なものにしたい意向で、陸海軍でも

聖なる花嫁と白衣の花婿と初對面

【東京十五日發本社特電】陸軍病院に國境七勇士の傷痍を見舞ひ生還陸軍醫學校第二期生に入學中の歩兵

漢口に櫻の園



我勇士達は櫻の苗木二千五百株を移植して咲いた花を見て祖國を偲ぶんだとばかりに十日早朝から漢口神社、日本公園、バンドなどにそれ〴〵植付を終つた

白衣の勇士歸還

後に臺北驛着

台灣驛着は同日午後十二時二十分である

旗の波に迎へられ 新入營兵臺北へ

眉宇に見る報國の賴母しさ

謝近火御見舞

合資會社 林和尚鐵工所

流轉

松竹京都文藝大作

前・後篇一擧上映

坂東好太郎 森靜子 主演

大船軍事映畫 さらば戰線へ

十六日ヨリ二日間 松竹共營

20センチ 第二世界

會葬御禮

林金標 來發 春生 玉露 附塗

謹告

刑妻蔡張氏治儀病氣中ノ處養生不相叶一月十五日死去候條此段生前辱知諸賢ニ謹告仕候追而葬儀ハ來ル十七日（舊曆十一月廿七日）午後二時自宅ニ於テ告別式相營可申候

昭和十四年一月十六日 臺北市川新町二丁目百番地

喪主 夫 蔡連枝

代理人 親族代表 蔡黃仁

友人代表 張淵宗

陳源佛

陳棟元

王國相

謝

昨秋以來病魔と闘ひ療養に努めて參りましたが遂に本月十五日午前四時十分永眠致しました、生前の御厚誼を感謝致します、尚ほ葬儀は左記の通り執行致しますから御會葬下さいます樣御願ひ申上げます

記

一、葬儀 十六日午後一時より

一、會葬 自宅より

一、埋葬 同日午後四時より

一、葬場 北門外

一、式師 某氏

一、葬主 某

一、喪家 某

日支親善を叫ぶ

金瓜石の華僑新民公會

昨日創立總會と發會式

【基隆電話】基隆金瓜石華僑新民公會は設立總會と發會式を十五日午後二時より金瓜石公學校講堂において擧行されたが、當日は福岡大學講師として來基中の

地方からの團體ドツと來る

代用品展賑ふ

代用品週の十五日は好天の日曜とて開市と同時にドツと殺到する一般入場者と小學校生徒の地方團體を收容するに苦心を

白衣の勇士歸還

後に臺北驛着

台灣驛着は同日午後十二時二十分である

旗の波に迎へられ 新入營兵臺北へ

眉宇に見る報國の賴母しさ

早大專門部に 工科を新設

四月から定期航空開始

修業年限は三年で四科を置く

【東京十五日發同盟】民間航空の飛躍的發展を圖るため日本航空輸送會社と國際航空株式會社を合併して設立を見た大日本航空株式會社では四月一日より二路線に

東京、パラオ間を あす試驗飛行

四月から定期航空開始

パラオへの定期航空路を開設することになり十五日東京よりパラオに向け試驗飛行をすることになつた

皇道日本の試寫

けふ午後四時公會堂で本社の主催

昨秋以來陸海軍當局の絶大なる後援の下に製作中であつた大日本航空株式會社の處女作品「皇道日本」の試寫會は愈々來る十六日午後四時から臺北公會堂で本社の主催で開催することゝなつた、本作品は大陸文化進出の爲めの講演會、展覽會等を時々內地で開催、更に大陸や台灣の文化人を網羅して大陸文化進出會」を設立、現地に支部を設けて大陸文化の様子を知らせる機關誌「大陸文化進出」を發行、現地に於ける講演會への派遣、講師派遣等の事業を行ふと共に大陸文化進出に關する映畫の製作、ニュース映畫の製作等を行ふと云ふ點に實に意義深く、且つ大陸文化進出の爲めの講演會、展覽會等を時々內地で開催、更に大

共榮に輝く 大相撲春場所

五日目取組

【東京十五日發同盟】大相撲春場所五日目取組左の如し

（白）（黒）
若瀧 ― 湊川
清瀧 ― 松光
若ノ里 ― 若ノ花
出羽ヶ嶽 ― 大ノ里
大ノ國 ― 武藏山
武藏川 ― 出羽ヶ嶽
千葉ヶ嶺 ― 大ノ國
出羽ヶ嶽 ― 中入後 ― 武藏川
土佐ノ海 ― 綾川
和歌嶋 ― 土佐ノ海
大ノ里 ― 和歌嶋
駒ヶ嶺 ― 大ノ里
羽黒山 ― 駒ヶ嶺
綾川 ― 羽黒山
男女ノ川 ― 綾川
鏡ヶ嶽 ― 男女ノ川
安藝ノ海 ― 鏡ヶ嶽
天龍 ― 安藝ノ海
鏡里 ― 天龍
名寄岩 ― 鏡里
龍王山 ― 名寄岩
男女ノ川 ― 龍王山
石ノ川 ― 男女ノ川

限定本展けふ限り

本社講堂にて開催中の「現代日本展定本展」は十六日も午前十時から開場するが、都合により午後四時半に閉場するので開場者はそれまでに入場されたいと

共成鐵工場燒く

十五日午前四時十分ごろ台北市宮前町二ノ三英成鐵工所（鐵骨造評判）より出火、火勢強くまたたく間に同工場を包んだ、警察に依り併來北警防團員等が出動消火に努めた結果同工場と倉庫を全燒して同五時過ぎ鎭火した、損害は鐵骨木造約二千円と推定されてゐる、原因は目下取調中

氣天のふけ

△臺北地方 東の和風 一時雨
△北部地方 東の和風 一時雨
△昨日の氣溫 最高一二・一度（午後三時） 最低一四・一度（午前一時）

（臺灣總督府觀測所）

大和丸 りよだ號

（來航）（發航）
十六日午後三時 外客の便 定期 第六 風沫晴

台內 定期航空

十六日午後二時 五時二十分 臺北着、乘客は次の通りである、閒世田重二、白島勝義、濱田喜吉の三氏

料理

元國賓川菜第二次門東 竹巴 會席御料理

御宴會特に勉强

電話五二五番

散冒田太

健康は胃から

實質的位の胃病專門

本舖 京東 太田胃腸病院

17日より新番組5日間
夜ッピンキン
フラダモドゴ日朝 臺日ニスーユニ映上 下階八〇錢
國際館
犯罪の都紐育!! 不夜城の歡樂地帶に起る怪奇と興奮と見ン スの交響曲
ジョエル・マクリー主演 エドワード・ウイルドウイク監督 ジーン・アーサー トーマス・ミッチエル 演
支那事變 海軍作戰記錄
進驚へ週二第々堂てつ驅を勢！讃絶大的倒壓
へ本一の是は題話の春！畫映ンビアダいただき聞いた見
滿員御禮

學生生徒聯合射撃大會で 臺北一中が優勝

個人では帝大の川満君

第六回臺北州下學生生徒聯合射撃大會

第六回臺北州下學生生徒聯合射撃大會は十五日午前十時より二張陸軍射撃場に於て兒玉軍司令官、國田知事を始め來賓多數臨場の下に擧行された先つ開會後勝の工藤上官、優勝旗の返納あつて大會會長二田原大隊長の挨拶の後直ちに射撃開始、參加校は臺北一中、同二、同三（以上甲）、同乙（以上）、高校、高商、一中、二中、工業、商業、基隆中、二師、二師等十校十二團體より射手三十名つゝ選出され一名五發宛次にて對抗射撃をなし、成績良好の順位に一中、個人は帝大の參加を以て對抗した結果左の如く一中に對しては優勝旗、優勝盾、銀盃各一、州知事賞、個人優勝川満君に對しては知事賞、總督府民官長賞が夫々與へられ、午後四時過ぎ閉會に移つた、個人は好天氣にめぐまれ、比較的一番の成績の射撃日和であつた

【團體】
一等　八百八十三點　一中
二等　八百二十九點　高商
三等　八百十八點　基中
四等　七百八十四點　二師
五等　七百五十二點　工業
六等　六百四十九點　高校
七等　六百三十八點　商業
八等　六百二十八點　大學(乙)
九等　五百九十三點　二師

十等　五百六十九點　大學(甲)
同　四十二點　商業(工業)
十一等　四百五十九點　二中
【個人】
一等　四十六點　川満（大學乙）
二等　四十二點　片岡（工業）
同　四十二點　浦上（商業）
三等　四十一點　藤勝（高校）
同　四十一點　坂上（中）
七、參加科目團體競技は不要、個人競技は一人に付金五十錢とし申込者に添付すること
八、申込期限　昭和十四年一月三十一日限とす
九、申込場所　新竹州新竹市役所教育課內臺灣體育協會新竹市分會事務所
十、參加料　團體競技は不要、個人競技は一人に付金五十錢とし申込者に添付すること
十一、競技は臺北州體育協會競技規則に依り行ふ

彰化と臺中の武道試合

彰化市劍友會では十四日午後二時半から彰化武德殿に於て日本武道試合を迎へ新春初劍合を行つたが、愛

女子陸上指導員 十六日再び來北

擔當のため南部各地を巡廻中の女子陸上競技指導員一行は十六日再び來北するが同日午後二時から第二武德殿に於て指導會を行ひ十七日午後一時三十二分台北發急行にて七日午後六時半より六場所競馬場に於て開催する豫定である

寒稽古開始

臺北州關弓道部では一月十六日より向ふ二週間每日午前六時半より一時間州廳弓道部の道場に於て州關弓道部の教師各自の心氣發揚と體位向上に資する爲一週間宛交代に出勤し初日の十六日朝は林弓道部長の指導に依り合同の寒稽古を行ふ第二日を卽ちた

臺北州關弓道部で

方有志數名が一ぺんに矢を放ち、して安全、箭は一人に付金五十錢とし人競技は一人に付金五十錢とし由込者に添付すること

（屏東競馬）屏東競馬第一日は十四日午卽ち午前十時半より六場所競馬場に開催、快勝の十數日と最初の公認競馬で人氣を呼びてファンの出足好く、第一回より十八円七十錢の大穴が飛び出すといふ賑ぎで慈人盛況を呈し、午後六時過ぎ裡に初日を卽ちた

△騎乘通歩三、六〇〇米
1、ボン（栗井七分四〇秒　2、ワカタケ、配當一八、七〇　複五、四〇　二、
△古呼西馬一、六〇〇米
1、トウセンショウ（山田）二分五九秒　2、クレオパトラ、配當二、一〇　複二〇〇　三、八〇
△補欠古馬一、六〇〇米
1、サッキ（上甲）一分五九秒　2、フタバ　3、ダイセカイ、配當五、〇〇　複一、八〇　二、八〇

四日目勝負

【東京十五日發國通】大相撲四日目勝負左の如し

冨ノ山突落し國　小松山押倒し十三國　佐賀ノ花吊出し源氏山　相模嶺上投げ國　谷川突落し國　松浦吊出し櫻　安藝ノ海突落し國　男女川突落し國　双葉山吊出し國　出羽ノ花打棄り國　照國突落し國　神武山押倒し國　中入後　國登吊出し櫻　勝ノ里突落し國　名寄岩突落し國　羽黒山突落し國　笠置山押倒し國　玉ノ海突落し國　龍王山突出し國　若葉山寄倒し國　大邱山打棄り國　十ヶ嶽突落し國　肥州山上手投げ國　ノ里突落